

一般質問



中学校における部活動の地域移行への現状

問 令和5年度から実施される部活動指導員活用に当たり、現在の取組状況を聞きたい。

答 本市においては、国や県

の方針を踏まえ、学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、令和5年度から休日の部活動指導員を配置することとしている。具体的には、中学校が要望する競技等の指導員を各校3名ずつ派遣するもので、指導員として元教員や地域でスポーツや文化活動に携わっている方等を想定しており、研修も実施する。

空き家等の利活用の促進

問 空き家の利活用を促進するための、新たなマッチング事業について聞きたい。

答 空き家の活用希望者が、そこで実施したい事業をPRし、その趣旨に賛同する空き家所有者を募集する事業。

他都市では、こうした事業により空き家がカフェなどに生まれ変わった事例もあり、この事業を通じて空き家の利活用を促進していきたい。

再発言 家財道具の処分等の補助があればマッチングが進むのでは。検討をお願いする。



新たなハザードマップ

問 令和5年度に策定予定のハザードマップの内容は。

答 福岡県による土砂災害警戒区域の追加指定や大牟田川

及び隈川の洪水浸水想定区域の指定を踏まえて、一部区域を修正する予定。加えて、想定し得る最大規模の降雨シミュレーションを行い、新たに内水浸水想定区域図を作成することで、計5種類のハザードマップを作成する。

また、令和6年の出水期前までに全世帯に配布する予定。

こども若者議会

問 未来を託す子供や若者が意見を表明し、まちづくりな

どの政策に反映される仕組みである「こども若者議会」設置への、市長の見解は。

答 子供や若者の意見を聞き、施策の推進を図っているが、充実させる必要がある。

若者会議等では、意見を述べるだけでなく、自ら実現していこうという頼もしい若者が活躍している。

そのことを踏まえ、他都市の例も勉強し、今後どういう形で子供や若者に、さらにまちづくりに参加してもらうことができるか検討したい。



介護保険料の引下げを

問 本市の介護保険料の基準額は、現在、年額74,640円、月額6,220円だが、年金から引かれるため生活できないとの

声が多数ある。利用料を払えずサービスを利用できないという本末転倒の事態も。高齢者の生活実態を見て保険料を引き下げるべきと考えるが。

答 第1号被保険者の保険料は、介護保険財政の安定を図る観点から、3年間の期間で均衡を保つように定められており、給付費の見込みを基に必要となる保険料を算定する。これらを見極め、次期保険料を検討していきたい。

問 介護給付費準備基金の見込みは。

答 4年度末で12億3,431万6,000円の残高になる見込み。

問 基金を取り崩し、介護保険料を引き下げてはどうか。

答 第9期の介護保険事業計画において、国の介護報酬改定内容等も反映しながら介護保険料を試算した上で、準備基金の取り崩しの必要性を検討していきたい。

再発言 財政の安定を維持するために、市民生活が壊れてしまっては元も子もない。

市民生活の実態に耐え得る保険料の算定を。